

事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦略名	6 産業を支える人材を育て、活かす	事業群主管所属	教育庁義務教育課
施策名	(1) キャリア教育の推進と企業人材の育成	課(室)長名	木村 国広
事業群名	① キャリア教育・職業教育の推進	事業群関係課(室)	高校教育課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)				
子どもたちが主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、望ましい勤労観や職業観を形成していくことができるよう、各学校種におけるキャリア教育・職業教育の充実を図ります。						i)「夢・憧れ・志」をもった長崎っ子を社会全体で育成するための産学官連携した教育環境の整備				
						ii) 県内就職率向上に向けた取組の推進のために求人開拓等を行う専門員を配置				
						iii) 将来の産業を支える人材の育成				
事業群	指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) ①子どもたちが、「あの人のようになりたい」、「あの人のような生き方がしたい」といった「夢・憧れ・志」を抱くことができる教育環境の整備を産学官が連携して行っている。実績は、着実に上昇傾向にある。
	目標値①			92%	96%	100%	100%維持	100%維持	100%維持(H32)	
	実績値②		79.4%(H26)	79.5%					進捗状況	
	②/①			86%	84%				やや遅れ	

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

事業 番号	取組 項目	事務事業名	事業 期間	事業費（単位:千円）			事 業 概 要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					29年度事業の成果等	中核 事業
				H28実績	うち 一般財源	人件費 (参考)	事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
				H29実績							H29目標	H29実績			
				H30計画							H30目標				
1	取組 項目 i	長崎っ子の「夢・憧れ・志」を育む環境整備事業	H25-30	328	328	1,608	公立小・中学校の教員・児童生徒	産学官が連携した「長崎っ子の『夢・憧れ・志』応援会議」を実施し、学校・地域・家庭が一体となって子どもの「夢・憧れ・志」を育むための施策を協議した。	活動 指標	フォーラム・講演会の開催回数(回)	1	1	100%	「長崎っ子の『夢・憧れ・志』応援会議」では、指定した重点地域の関係者をパネリストとして迎え、教職員や保護者、地域住民、企業、行政関係者がそれぞれの連携・協働の在り方を考えるフォーラムを実施した。また、応援会議の協力者である市原隆靖氏による「夢・憧れ・志を育むいっちゃん楽しいコンサート」を県内20の小学校で開催し、子どもたちの「夢・憧れ・志」の育成に寄与することができた。	○
				319	319	1,609					1	1	100%		
				612	612	1,599					92	79.5	86%		
		義務教育課			96	80.9			84%						
										100					
2	取組 項目 ii	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	H28-32	67,066	10,614	7,238	県立学校(高等学校・特別支援学校)の生徒	県外への就職割合が高い工業高校等にキャリアサポートスタッフを配置し、生徒や保護者に対して県内企業の魅力と情報を提供するとともに、学校内での企業説明会、インターンシップの支援等を実施することで、県内企業への就職等を支援した。	活動 指標	県内企業への訪問回数(回)	3,600	3,013	83%	企業説明会やインターンシップの支援等の充実を図ったため県内企業への訪問回数は少なくなったが、これらの支援等の活動により、県内企業の魅力や情報が生徒や保護者に十分伝わり、県内就職内定者の割合が目標を上回った。	○
				65,805	0	8,851					3,600	2,911	80%		
											3,600				
				53.4	56.7	106%									
		成果 指標	H28:配置校における高校生の全就職内定者に対する県内就職内定者の割合(%)	59.5	60.0	100%									
				60.1											
		若者定着課(高校教育課)		72,309	0	8,796									

3	取組 項目 iii	産業教育指導費	—	12,221	12,200	7,640	県立学校 (高等学校・特別支援学校)の 生徒	企業・研究機関等から講師を招へいし、産業界の 変化に対応できる人材の育成等を目指した民間 講師招へい事業や、プロジェクト研究活動に対す る支援(農業)、技術・技能向上に対する支援(工 業)、プレゼンテーション能力等に対する支援(商 業)等を実施した。	活動 指標	県立学校実施校数 (校)	40	42	105%	産業教育民間講師招へい事業の実施 校において、「職業について考える機会 になった」と答えた生徒の割合は高く、 生徒の職業観の醸成に寄与している。	○
				12,093	12,077	7,241					40	45	112%		
				15,042	7,506	7,996					40				
		高校教育課	—	1,393	1,393	12,867	県立高校 教員	高等学校における進路指導上の諸問題について 研究協議を行い、進路指導の一層の改善・充実 を図るとともに、進路指導主事の資質の向上を 図った。	活動 指標	参加者割合(%)	95	92	96%		
											95	93	97%		
											95				
4	取組 項目 iii	進路指導費	—	821	821	13,678	県立高校 教員	高等学校における進路指導上の諸問題について 研究協議を行い、進路指導の一層の改善・充実 を図るとともに、進路指導主事の資質の向上を 図った。	活動 指標	参加者割合(%)	100	99	99%	進路指導主事会参加者において、「とて も参考になった」「参考になった」と答え た割合が高く、進路指導主事の資質の 向上に寄与している。	
				426	426	12,794					100	100	100%		
				426	426	12,794					100				
		高校教育課	—	1,393	1,393	12,867	県立高校 教員	高等学校における進路指導上の諸問題について 研究協議を行い、進路指導の一層の改善・充実 を図るとともに、進路指導主事の資質の向上を 図った。	成果 指標	参加者のアンケート で「参考になった」と 答えた割合(%)	95	96	101%		
											95	95	100%		
											95				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i)「夢・憧れ・志」をもった長崎っ子を社会全体で育成するための産学官連携した教育環境の整備
- 産業界や大学等と連携し、各学校区での「職場体験」や「職業人講話」等の取組を支援する産学官連携応援会議や全国で活躍する本県出身者の講演会を開催することで、郷土の魅力ある大人と子どもが出会う機会を確保し、将来の目標に向かって努力する子どもの育成につなげている。 - 産業界とのつながりを強化し、各地域での具体的支援体制づくりのため、全県的な協力体制を構築していく必要がある。
ii)県内就職率向上に向けた取組の推進のために求人開拓等を行う専門員を配置
キャリアサポートスタッフを配置したことにより、県内企業の魅力や情報が早期に生徒、保護者に伝わり、県内就職希望者が前年度に比べ75名増加したが、内定率は97.0%と昨年度比3.8ポイント減少している。県内を希望する生徒の進路実現の支援と県内企業の高校生を育成する体制の見直しを働きかけていく必要がある。
iii)将来の産業を支える人材の育成
- 民間講師招へい事業に参加した生徒の9割以上が「職業について考える機会になった」と答えていることから、職業観の醸成がなされており、生徒の進路選択に寄与している。しかしながら、派遣される講師の地域を限定的なものであるため、学校が求める講師の選定に限界がある。 - 学校の進路指導の中心を担う進路指導主事の研修会において、参加者の9割以上が「参考になった」と答えていることから、教員の資質が向上し、生徒の進路指導に寄与しているが、今後、情報交換の時間の確保や研修会の報告等を実施するなど、さらに内容の反省と分析を繰り返しながら時代に合った内容にしていく必要がある。

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しがない場合は「－」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	長崎っ子の「夢・憧れ・志」を育む環境整備事業	平成30年度においては、夢や志を持ってふるさとを担う職業人、地域人と子どもたちを会わせるために、コミュニティ・スクールを軸とした地域総ぐるみでの取組を進め、併せて首長部局や企業との連携・協働の在り方を考える。その取組の成果については、フォーラムにおいて広く情報発信を行う。	－	平成30年度が事業の最終年度である。キャリア教育・職業教育の充実のために、今後も引き続き社会全体が一体となって取り組む必要性を確認し、産学官が連携して子どもたちの育成に取り組むための環境を整えていく。特に、今後、展開していきたいと考えている未来を創るふるさと教育を展開する上では、産学官の連携が欠かせないものであり、内容を再構築しながら、人口減少対策の核となる事業を展開していきたい。	終了
2	取組項目 ii	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	平成30年度においては、キャリアサポートスタッフ25名を併任配置を含めて46校へ配置し、事業効果をあげていく。	⑨	引き続き、「キャリアサポートスタッフ」の業務内容を充実させるとともに、平成30年度の配置校の効果を分析・検討し、キャリアサポートスタッフと県内就職推進員との連携会議をもとに、効果があがった取り組みについて情報共有を行い、平成31年度においては、より効率的で効果が高い支援を検討していく。また、工業高校の学校内での企業説明会の実施を他校にも周知し、取組方法やノウハウを共有することで、効果を広げることに努める。	改善
3	取組項目 iii	産業教育指導費	平成30年度においては、過去の講師一覧等の情報提供や講師の選定方法の見直し方を検討し、改善を図っていく。	－	プロジェクト研究活動に対する支援(農業)、技術・技能向上に対する支援(工業)により、本県の高校生が多く日本一を取得するなど有意義な支援となっているため、今後も取組を継続していく。	現状維持
4		進路指導費	進路指導主事会において、校種別・地域別の情報交換の時間を拡大し、内容の充実を図る。	⑨	生徒の進路指導の充実を図るため、進路指導主事研修会等を引き続き実施する。特にキャリア教育については、企業から講師を招へいし、「ライフプランニング」についての講演を行うなど内容の充実を図る。	改善

注:「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。

② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。

③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。

④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。

⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。

⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。

⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。

⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。

⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。

⑩ その他の視点